



明治2年に開院した神戸病院。手前の建物番屋前の左再山(再度山)道の道標(矢印▲)は現在も残っている。



神緑会館入口前花壇



神緑会館(手前平屋建て)と事務棟・附属病院外来棟全景(左奥に旧第一病棟を望む)平成13年11月



有馬街道沿い神緑会館西側花壇

目次	ページ
令和元年度一般社団法人神緑会定時(社員)総会並びに学術講演会報告	3
開会挨拶	3
役員選任	3
審議事項	5
委員会報告等	5
優秀女性研究者受賞記念講演	7
特別講演Ⅰ	7
特別講演Ⅱ	12
情報交換会	14
会長退任にあたって	15
新会長就任挨拶	17
退職にあたって、ご支援に感謝!	18
2019年度大倉山祭開催に向けて	22
神戸病院の鐘	23
編集後記	

*学生

34階には神戸市街、大阪湾を一望するダイニング、
35階にはスカイラウンジ

34階レストランから望む、神戸港、三宮、
北野～新神戸界隈の街並み、六甲山（南西～北西方向）

今は自由にアクティブに暮らしたいけれど、将来の介護は不安という方へ

介護付有料老人ホーム
（一般型特定施設入居者生活介護）

入居時自立

サンシティタワー神戸

所在地：〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通2-3-5



34階ダイニング



外観/平成29年4月撮影
土地・建物/事業主体非所有（賃借）



1階中庭

タワーでありながら緑豊かな中庭は1600㎡の癒しの空間。
リゾートホテルのような快適さで、豊かに暮らせる安心の住まい。



ロビー



温水プール

安心の医療支援体制と介護体制

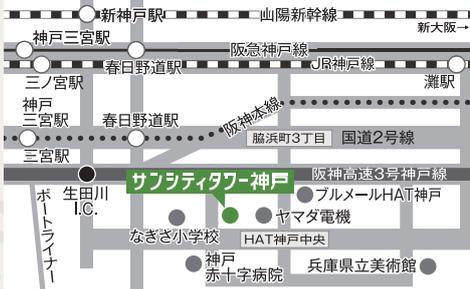
将来介護が必要になっても、要介護者3人に対して
ケアスタッフ（看護師含む）2人以上という手厚い
介護人員体制



岩永メディカルクリニック
※同一建物内診療所（別法人）



斜向かいに神戸赤十字病院
※近隣の医療機関



予約不要のレストラン、大浴場、温水プール、フィットネスルームなど共用部が充実。

要予約

個別見学会開催

資料のご請求・
ご質問等お気軽に！

資料請求・見学のお申込みの方は

0120-33-1655

受付時間 / 午前9:00～午後5:00（土日祝日も受付可）

【施設概要】●所在地/兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通2丁目3番5号●敷地面積/12,431㎡●建築面積/5,861㎡●延床面積/57,391㎡●構造規模/RC造（一部S造）、地上35階●一般居室数/483室（37.30㎡～112.76㎡）、介護居室数/95室95床（一時介護室4室4床含む）[20.8㎡～25.61㎡]●主な共用設備/レストラン、温水プール、男女大浴場、美容室その他●土地・建物の権利形態/事業主体非所有●建物竣工/2017年4月●開設年月/2017年6月●事業主体・運営管理/㈱ハーフ・センチュリー・モア●返還金制度/あり【協力医療機関】■住友病院（大阪市北区中之島5-3-20、施設から約33km）●主な診療科目/一般内科、リハビリテーション科、心臓血管外科、神経内科、放射線科ほか●協力内容/生活習慣病予防健診に利用できます■兵庫医科大学病院（兵庫県西宮市武庫川1-1、施設から約18.5km）●主な診療科目/総合内科、外科、眼科、整形外科、脳神経外科ほか●協力内容/高度医療を必要とする場合の入院、外来、緊急時の対応、人間ドックに利用できます■神戸労災病院（兵庫県神戸市中央区筋池通4-1-23、施設から約1.4km）●主な診療科目/総合内科、呼吸器内科、糖尿病、内分泌内科、神経内科、精神科、心療内科、循環器内科、外科、整形外科、心臓血管外科、リハビリテーション科●協力内容/高度医療を必要とする場合の入院、外来、緊急時の対応、生活習慣病予防健診に利用できます。【同一建物内クリニック】■岩永メディカルクリニック（別法人）●主な診療科目/内科、外科、消化器内科、糖尿病内科、リハビリテーション科【神戸市有料老人ホーム設置運営指針による表示事項】●類型/介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）●居住の権利形態/利用権方式●利用料の支払い方式/全額前払い方式●入居時の要件/入居時自立、満70歳以上の方●介護保険/神戸市（兵庫県）指定介護保険特定施設、神戸市（兵庫県）指定介護予防特定施設●介護居室区分/全個室●介護にかかわる職員体制/1.5:1以上●入居申込書の記載事項に虚偽があったり、月額利用料の支払いを正当な理由なしに滞りした場合、他のご入居者や従業員に危害を及ぼす等の行為がある場合、その他入居契約書に定めた条項に違反された場合は、相当の催告期間の後に契約を解除させていただくことがあります。●お客様の個人情報は、資料の発送や見学会のご案内のほか、各種の統計調査に利用する場合があります。

（株）ハーフ・センチュリー・モアは大手企業約100社が出資する資本金120億円で、借入金のない会社です。

【主な出資企業】三井住友銀行・みずほ銀行・三菱UFJ銀行・西日本旅客鉄道・三洋電機（パナソニック）・塩野義製薬・ダイキン工業・ヤンマー・江崎グリコ ほか

もう半世紀すこやかに
株式会社 ハーフ・センチュリー・モア

〒107-6030 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 30 階
☎0120-77-5088 TEL. 03-3505-6688 FAX. 03-3505-6198

www.hcm-suncity.jp

令和元年度一般社団法人神緑会定時(社員)総会開催報告

◆ 神緑会総会 開会挨拶

会長 前田 盛



前田会長

「梅雨で大変な中」の言葉を使わずに開会できますことは、大変有難いことです。皆さんご出席いただき、大変ありがとうございます。なお、各支部長、関連病院長、神戸大学の教室等多くの方々のご支援に感謝致します。

さて、本日は、役員選挙がございますので、挨拶は短くなりますが、ご了解願います。この一年間の活動は、75周年・150周年記念事業でありまして、各学年代表等による座談会を開催し、昭和24年から平成16年卒までの内容を「座談会の記録－女性医師の



司会 大林評議員会議長

進路選択」としてまとめ、全卒業生に送付しました。一方、「歴史的事実の提示」のパンフレットは、クラス代表や支部長を經由し、手渡しでの配布としたため、各会員への浸透は、図れていません。各会員のお手元に宝物として保管いただきたいと考えておりますので、神緑会事務局へお申し出ください。

実は昨年報告した決算で、基本財産の費消が終わったので、事業費と管理費の区別のない決算としたと報告しましたが、費消は事実ですが、その場合でも二つの区分は守る必要がありますので訂正します。

それでは長時間に渡りますが、運営にご協力いただくようお願いします。

◆ 役員選任（選挙）

一般社団法人神緑会役員選挙の経過報告

選挙管理委員長 宮崎 都志幸（昭和51年卒）

一般社団法人神緑会定款、運営規則、役員選挙細則の定めに従い、下記のような経過で役員選挙を行いました。

1. 社員総会までの経緯

(1) 選挙管理委員会の設置および委員会の開催

平成31年1月19日の臨時社員総会において、「役員改選に伴う選挙管理委員会の設置」が承認された。その後4回にわたり委員会を開催した。

(2) 選挙実施までの経緯

①選挙の告示…3月29日に、神緑会ホームページの会員コーナー役員選挙ページにて告示を行った。この際、郵送希望者にご連絡いただくように、ニューズレターへの掲載、チラシ配布等にて周知を図った。

②役員立候補の受付…5月1日から立候補の受付を行い、5月20日に立候補受付を締め切った。理事25名、監事2名の立候補があった。

③立候補辞退の受付…5月21日から立候補辞退の受付を開始し、5月27日で締め切った。辞退者は、理事立候補者10名、監事立候補者は「無し」であった。



宮崎委員長



④役員立候補者の資格承認…6月1日の選挙管理委員会において、運営規則第4条4項の規定により、理事15名、監事2名の立候補者全員を役員候補者として承認した。

2. 社員総会における経緯

(1) 役員選挙延期の緊急動議が提出されたが反対多数のため否決された。

--- 以後は、評議員長から選挙管理委員長に議長が引き継がれ議事進行 ---

(2) 「役員選任決議となること」の告知

候補者数が理事・監事の定数内なので、役員選挙に代えて役員選任決議となることを議長が告知した。

(3) 役員選任決議の実施

会場を閉鎖し、意思表示用のグリーンカードの総数を確定した。総数が76枚であったので過半数39枚以上は選任、38枚以下は非選任、とすることを、白板を用いて会場全体で確認した。

会場より、「候補者に抱負など述べてほしい」との発言あり、拍手多数であったため出席している各候補者に、順次、抱負などを述べてもらった。その後、選任決議を個々の候補者ごとに順次行った。その結果、1名の候補者のみ過半数に届かず、同候補の選任決議は否決された。

議長は選任結果を改めて総括し、14名の理事候補と2名の監事候補が神緑会役員に選任されたことを宣言し、終了とした。その後、会場閉鎖を解除した。

以上、一般社団法人神緑会役員選挙の経過をご報告いたしました。



選挙風景（信任の場合、緑のカードを挙げる）

2019年新役員

役職	氏名	卒業年度	所属支部
会長	木戸 良明	昭和61年	学内
理事	宮地 千尋	昭和54年	東灘区
理事	大林 良和	昭和55年	灘区
理事	岡村 雅雄	昭和56年	大阪
理事	竹山 宜典	昭和56年	大阪
理事	山崎 峰夫	昭和56年	中央区
理事	黒田 大介	昭和57年	北播
理事	大西 祥男	昭和58年	加古川
理事	谷 恵美子	昭和58年	灘区

役職	氏名	卒業年度	所属支部
理事	川合 宏哉	昭和61年	姫路
理事	藤岡 宏幸	昭和63年	兵庫医科大学
理事	中村 誠	平成1年	学内
理事	力武 良行	平成4年	東灘区
理事	児玉 裕三	平成6年	学内

監事	田中 邦彦	昭和42年	加古川
監事	上辻 浩夫	昭和42年	大阪

所信表明する各理事候補者。その後の投票で理事に選任された。



木戸会長



宮地理事



大林理事



岡村理事



山崎理事



黒田理事



大西理事



谷理事



川合理事



藤岡理事



中村理事

※竹山理事、力武理事、児玉理事は欠席のため顔写真はありません。

◆ 審議事項

- 1) 平成30年度 事業報告について承認されました。
 - 2) 平成30年度 決算報告について承認されました。
 - 3) 平成30年度 監事監査報告について
- ※詳細はホームページに掲載します。



決算報告 中野副会長



監査 田中先生

◆ 委員会報告等

- 1) 学術委員会報告
 - 2) 学術誌編集広報委員会報告
 - 3) 情報委員会報告
 - 4) 名簿編集委員会報告
- ※必要項目は、ホームページに掲載します。



令和元年度 一般社団法人神緑会 田中千賀子学術奨励賞授与者

氏名・所属	研究業績	助成金(円)
三木 明子 (平成16年卒) 神戸大学医学部附属病院 眼科 助教	中心性漿液性脈絡網膜症の疾患感受性遺伝子探索	300,000



前田会長、三木先生



情報交換会での挨拶

令和元年度 一般社団法人神緑会研究助成金授与者
募集対象1

番号	氏名・所属	研究課題等	助成金(円)
1	勝二 郁夫 (平成2年卒) 神戸大学大学院医学研究科 附属 感染症センター 感染制御学分野	インドネシアにおけるロタウイルスの分子疫学解析 実施場所：神戸大学大学院医学研究科 附属感染症セン ター、アイルランガ大学熱帯医学研究所	500,000
2	青井 貴之 (平成10年卒) 神戸大学医学部附属病院 再生医 療臨床応用実現化人材育成セン ター (兼、大学院医学研究科 iPS 細胞応用医学分野/科学技術イノ ベーション研究科)	iPS 細胞等を用いる病態解明及び治療開発研究の基盤強化 (3年目) 実施場所：神戸大学楠キャンパス	500,000
3	近藤 武史 (平成11年卒) 神戸大学大学院医学研究科法医学 分野	乳児突然死剖検例におけるボツリヌス菌・毒素の関与 実施場所：神戸大学大学院医学研究科法医学分野 兵庫 県立健康科学研究所感染症部	500,000



勝二先生



青井先生



近藤先生

募集対象2

番号	氏名・所属	研究課題等	助成金(円)
1	伊藤 智雄 (特別会員) 神戸大学大学院医学研究科 病理 学講座 病理診断学分野	第8回神戸免疫組織診断セミナー (いむーのセミナー) 神戸大学総合研究拠点コンベンションホール (〒650-0047 神戸市中央区港島南町7丁目1-48)	100,000

◆ 学術講演会

■ 優秀女性研究者受賞記念講演



杉浦先生

杉浦麗子 (すぎうら れいこ)

略歴 1992年 神戸大学医学部医学科卒業 神戸大学医学部
精神科入局
神戸大学附属病院、済生会中津病院で研修
1994年 神戸大学医学部大学院入学 (薬理学教室)
1997年 神戸大学医学部薬理学教室助手に就任
1999年 神戸大学医学部薬理学教室講師に就任
2000年 神戸大学医学部薬理学教室助教授に就任
2001年 神戸大学大学院医学系研究科ゲノム科学講座
助教授に就任
英国王立がん研究所 文部科学省在外研究員
2004年 近畿大学薬学部分子医療・ゲノム創薬学研究室教授に就任
2012年 近畿大学薬学部創薬科学科長に就任—現在に至る



司会 谷副会長

受賞歴 1998, 1999, 2003 The Kobe Medical Award for Excellence in Research
2000 The Japanese Pharmacological Society Young Investigator Award
2018 「優秀女性研究者賞」

演題「ゲノム薬理学的手法を用いた MAPK シグナル伝達経路制御機構の解明と創薬への応用 ～ A novel cancer therapy to stimulate oncogenic ERK signaling ～」

講演要旨：ERK MAPK 経路は、進化的に高度に保存された細胞内シグナル伝達経路であり、細胞増殖の鍵を握る。一方、ERK MAPK シグナルは多くのがんで活性化されていることから、がん治療の魅力的な標的でもある。私は、遺伝学と薬理学を融合した独創的な手法により、MAPK シグナル伝達経路の制御因子・標的因子を網羅的に同定するとともに、新規 ERK MAPK 経路調節薬の単離と抗腫瘍活性の発見に取り組むことにより、増殖・がん化の分子機構に迫る成果を得た (Sugiura et al., EMBO J. 1998, Nature 1999, 2003, J. Cell Sci. 2016; Scientific Reports 2016, 2017, Genes to Cells 2018)。特に私が発見した新規抗腫瘍剤“ACA-28”は、Ras 変異や Raf 変異、HER 2 や EGFR 過剰発現など、様々な原因により ERK が活性化した多癌種において、ERK MAPK 経路をさらに亢進させることにより、がん細胞特異的に細胞死を誘導する極めてユニークな活性を示す。この成果は、従来の< ERK 阻害 = 抗がん剤開発 > という創薬概念を覆すと同時に、「ERK 依存の細胞死」という新たな学術的課題とがん治療戦略を提唱する。

■ 特別講演 I

明治2年、開港直後の神戸に建設された神戸病院について、詳細が明らかになったのは、昭和59年です。開港三十年史に宇治野村に病院が建設されたことは記載されていたが、その建設にほんの短期兵庫県令（現在の知事）伊藤博文が呼びかけた購金録があって、本当に病院があったらしいとされていた。

昭和19年発足の兵庫県立医学専門学校を起点とした40周年、すなわち昭和59年に藤田英夫氏により、下山手八丁目と特定され、その確信材料として「左再山道」の道標が神戸市の道路管理の一貫として現在も残っている。この幸運に加えて、京都大学教養部図書館に保管されていた4枚の写真が港に面した写真であり、更に前述の道標の存在と重なって特定された。誰が発見したについて、神緑会は、昭和38年卒、故 住野公昭先生の神緑会学術誌第2巻86～87ページで「実は近盛氏が神戸病院ではなかるうかと推定し」かつその根拠に「浄

世夫彦—ジョン万次郎」誌15巻にも詳細な解説が載っている。昭和57年であったこと、近盛氏はこどものころ、近くに住んでいて、江馬内科のあった付近と記述されている。江馬医院は、明治33年に神戸病院が現在地に移った最後の院長、江馬賤雄氏の診療所であった。

つまり、江馬内科の後が雅叙園ホテルとなり、阪神・淡路大震災でホテル旧館が大きな被害を受け、現在のマンションへと変転した。

京大にあった4枚の写真のうち、番所—病院と見渡せる配置は見事なものであり、刀を差した武士や港に浮かぶ船など本当に当時の多くを写しだしている。2名の故人と1名の存命中の藤田英夫氏の話であり、神戸史談255号P10~21「神戸病院の明治初期の写真に関する一考察」とその解説のための神緑会総会での講演に待つまでもなく藤田英夫氏のご功績を大としたい。

山本先生と神緑会との関係は、タイミングと視点が従来考えたこともない建築家であったという点でこの上ない助っ人として好運を感謝したい。前号のニューズレターに本人が書かれているが、阪神間の住宅地開発は、わが国最初のもので明治33年から動き出し、その検索の途中に神戸宇治野村に神戸病院が建てられたとの記述にあったとされている。それで興味をもって調べると新しい内容が見つかったとして、神緑会にメールが届いた。3月1日に直接神緑会事務所で面談し、具体的な情報交換を行い、本日に至りました。藤田英夫氏及び山本氏と外部の方々のご協力で明治・大正・昭和の神戸病院の変遷が明らかになり、大変ありがたい。

(文責 前田 盛)



建築デザイナー 山本 ゆかり (やまもと ゆかり)

- 略歴 2002年 京都大学人間・環境学研究科環境関連専攻修士課程入学
財団法人住宅研究財団助成金により神戸住吉村の郊外住宅地形成の研究
- 2004年 京都大学人間・環境学研究科環境関連専攻修士課程修了
修士号取得 (人間・環境学)
京都大学工学研究科建築学専攻博士課程入学
阪神間の近代郊外住宅地開発に関する研究
- 2008年 京都大学工学研究科建築学専攻博士課程修了 博士号取得 (工学)
- 2008~2009年 京都大学工学研究科建築学専攻研究員
- 2010年 建築デザイナー、現在に至る



司会 前田会長

講演内容 「明治・大正・昭和の神戸病院建物」

明治2年に神戸病院が建設されたことは、「神戸開港30周年」に詳細が記され、その資金集めのための購金録は兵庫県公館に残されていた。ただ、京都大図書館に保管されていた4枚の写真が神戸病院のもので下山手八丁目の場所が特定されたのは、昭和59年であった。明治33年に現在地の半分の地に移転し、大正12年に現在の広さになった。昭和5年病院本館が建設され、前京都府立大学学長小川蹉五郎病院長、後に兵庫県立医専校長でこの時の詳細な図面が残っている。今回、山本ゆかり京都大学工学部卒、工学博士の尽力により、明治・大正時代の病院図面が明らかになった。その尽力に感謝、紹介する。



1869年6月12日付 [HIOGO&OSAKA HERALD] に掲載された神戸病院の広告
西暦1869年6月12日、旧暦では明治2年5月3日。
(書き起こし：山本)

右広告の英文

NOTICE

Foreign Residents are hereby notified that the KOBE GENERAL HOSPITAL is now open for their admission upon the following terms.

Any person desirous of entering will be required to present a document from the Consul of his country, countersigned by the Director of the Hospital, which document shall guarantee the payment of his hospital expenses upon its presentation at the Consulate.

The Tariff of Charges will be as below :

1 st Class, Single Room with exclusive attendance ... \$4.00

2nd „ Double Room 2.50

3rd „ Ordinary Ward... .. 1.50

Japanese Servants of Foreigners..Boo ■ 3 (■ は判読不可)

By order of the Governor of Hiogo,
Alex. M. VEDDER, Medical Director.
Hiogo, June 12th, 1869.

NOTICE

Foreign Residents are hereby notified that the KOBE GENERAL HOSPITAL is now open for their admission upon the following terms..

Any person desirous of entering will be required to present a document from the Consul of his country, countersigned by the Director of the Hospital, which document shall guarantee the payment of his hospital expenses upon its presentation at the Consulate.

The Tariff of Charges will be as below :—

	Per Diem.
1st Class, Single Room with exclusive attendance ...	\$4.00
2nd „ Double Room	2.50
3rd „ Ordinary Ward... ..	1.50
Japanese Servants of Foreigners..Boos 3	

By order of the Governor of Hiogo,
ALEX. M. VEDDER,
Medical Director.
Hiogo, June 12th, 1869.



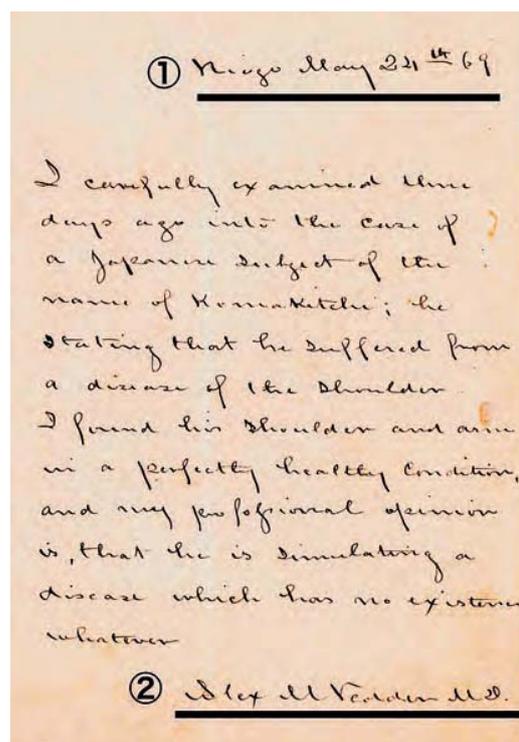
駒吉仮病診断書 (英文) (神戸大学附属図書館蔵 神戸開港文書より)

初代病院頭 (長)
Alex. M. Vedder

① Hiogo May 24 th 69
I carefully examined three days ago into the case of a Japanese subject of the man of Komakichi; he stating that he suffered from a disease of the shoulder. I found his shoulder and arm in a perfectly healthy condition, and my professional opinion is that he is simulating a disease which has no existence whatever.

② Alex. M. Vedder MD.

※右英文が読みにくいので書き起こした。



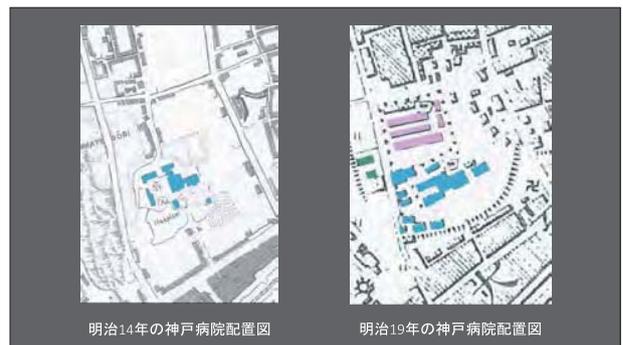
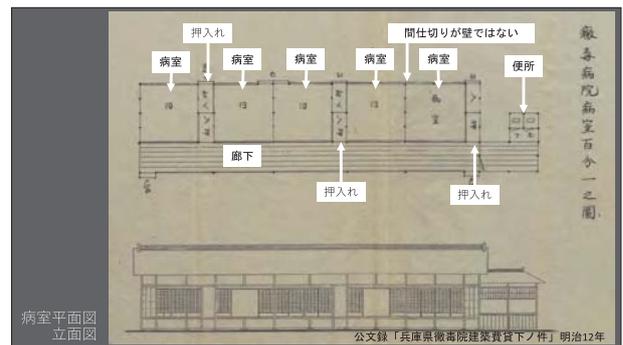
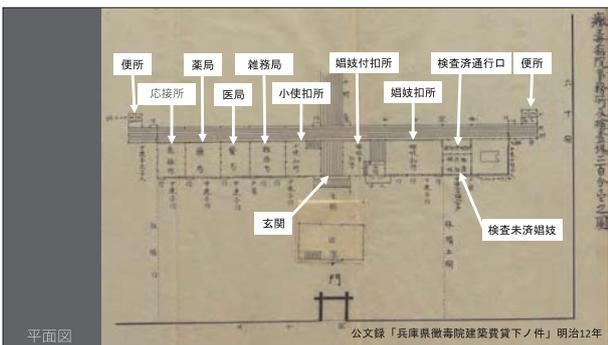
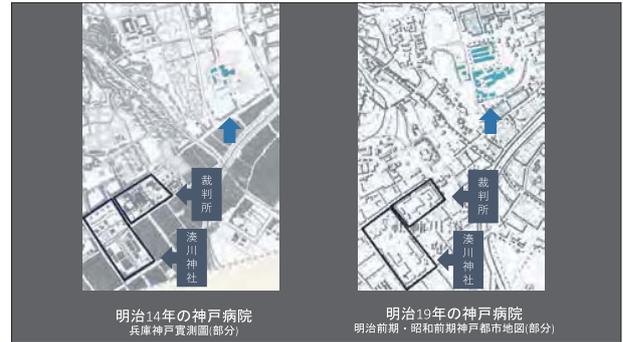
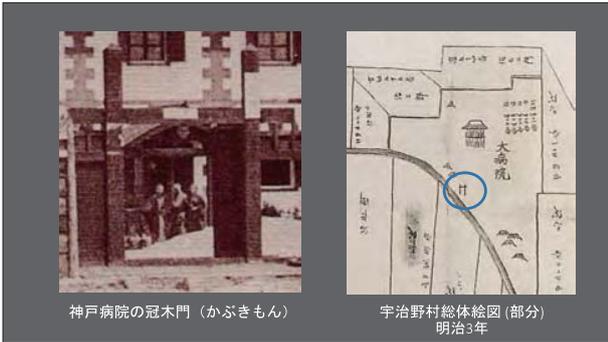


明治・大正・昭和の 神戸病院

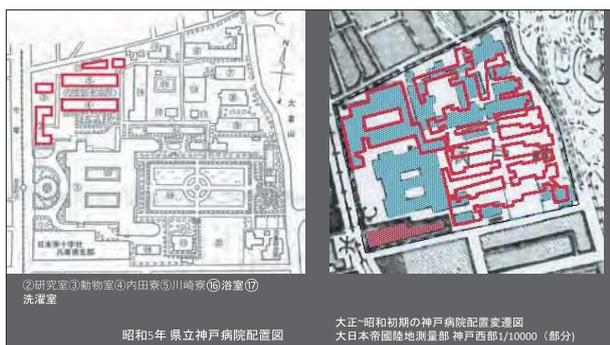
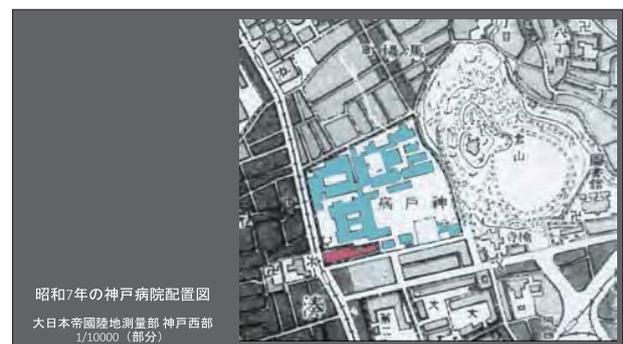
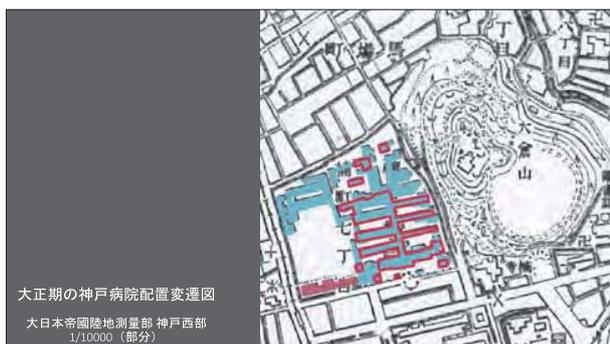
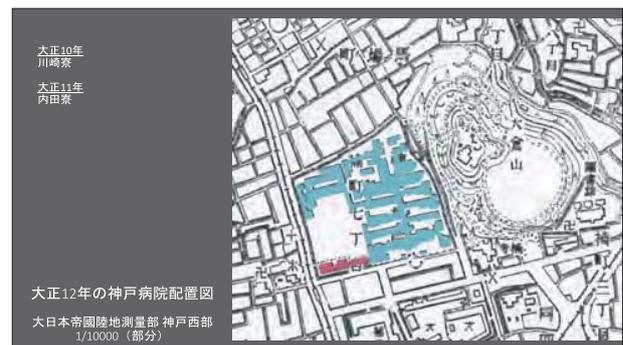
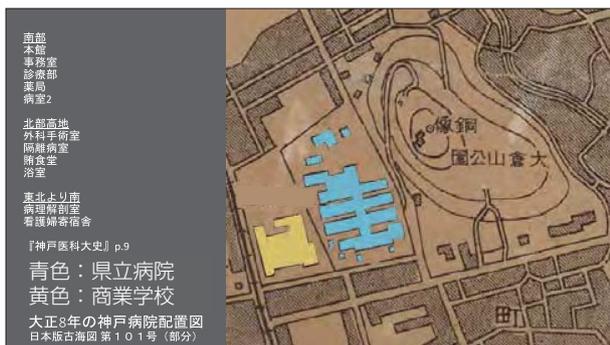
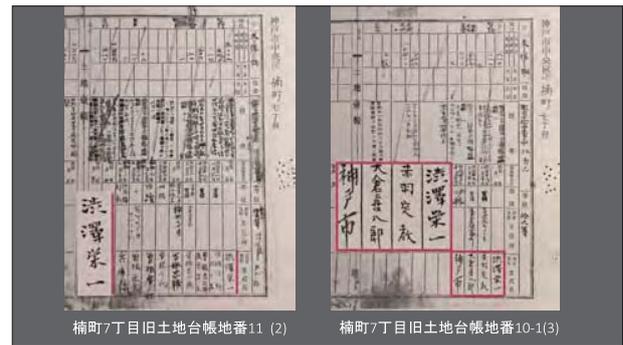
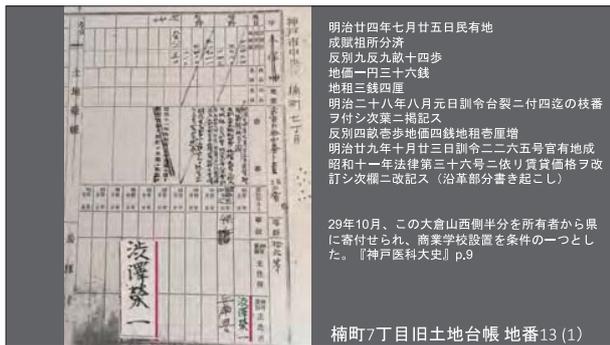
- 第1期神戸病院の建物と配置
- 明治期の地図からみる神戸病院
- 梅毒病院の図面
- 第2期神戸病院の建物と配置
- 明治期・大正期の地図からみる神戸病院
- 旧土地台帳の記録



第1期神戸病院 下山手8丁目



第2期神戸病院 現在地：楠町7丁目



病院本館の完成

明治33年4月、落成式が行われ、神田県令（知事）はじめ638名の出席と記録されている。

(編集部注)

■特別講演Ⅱ

高士神戸新聞会長のご講演は、ていねいな語り口で聴衆が集中して聞こうとするもので、理事会では早くから候補としてあがっていた。記念事業の推進中だったので、神戸大学の学内関係者を優先したので、この段階でのご登場となりました。

いくつかの興味をひいた点をご紹介しますと、ご用意いただいたレジュメは、大変興味のあるもので、神戸病院の開院から県立神戸医学校とその閉鎖までキチンとおさえられており、明治33年の中央区楠町7に新築移転とある。その後は、昭和19年の「兵庫県立医学専門学校」開設まで話が飛ぶが、大正11年の医科大学（旧六）が1925年に向け順次開設とある。旧帝国大学の整備に次いで動きだした旧六は、京都、大阪に帝大があったので神戸を通りこして岡山に設置された、と紹介された。

大正6年鈴木商店の記述から米騒動、鈴木商店の焼き討ち、昭和2年の鈴木商店破綻までは、神戸を舞台に発展した商店の動き（玉岡かおる氏の「お家さん」に詳しい）は、この地に住む私達に興味のある内容です。

最後に、マスメディアの系列の問題として、野球中継の解説があった。関西では、朝日、毎日ラジオがともに阪神タイガースを中継し、ラジオ関西が読売ジャイアンツを中継している。テレビとラジオの系列化の中で、読売テレビはラジオ局をもっていない。そのことが20数年前に突然ラジオ関西が中継をスタートした理由だそうです。

1時間半を予定して準備したが、神緑会側の事情で45分間で切り上げていただいた。大変な失礼でしたが、なんとか、1時間遅れの午後7時から情報交換会を開始することができました。感謝します。（文責 前田 盛）



高 士 薫（たかし かおる）

神戸新聞社代表取締役会長／神戸新聞厚生事業団理事長

学 歴 1975年3月 神戸大学法学部卒業

略 歴 1975年4月 神戸新聞社入社

2000年3月 編集局社会部副部長

2003年2月 編集局社会部長

2005年3月 編集局次長兼社会部長

2006年2月 編集局長

2008年2月 神戸新聞社取締役（編集・論説担当、編集局長）

2009年2月 同 取締役（広告担当）

2010年2月 代表取締役社長 グループ経営会議議長

2018年2月 神戸新聞厚生事業団理事長を兼務

2019年2月 現職

公 職 一般社団法人 共同通信社 理事会副会長



司会 中野副会長

演題「兵庫の150年と神戸大 そして神戸新聞」

講演要旨：神大医学部は慶応の昔、神戸開港とともにその種がまかれました。前身の神戸病院が開院して、今年、150周年の佳節をお迎えになられることに、まずお慶びを申し上げます。しかしその長い歴史にもかかわらず、けっして文部行政から優遇されることはなかった、と申し上げていいでしょう。兵庫・神戸の成り立ちと個性、写し鏡のようにそれが反映した神戸大学の歩み、そして地元紙・神戸新聞グループの今。神戸大学を出て兵庫・神戸を取材し続け、日本の新聞界をほぼ俯瞰できるようになった立場から、兵庫の150年と神戸大学、そして地元メディアを語ってみたいと思います。ご期待にはとても沿えないと思いますが。



参考資料として配布

2019年6月29日

「兵庫の150年と神戸大 そして神戸新聞」

神戸新聞社 代表取締役 高 士 薫

■兵庫・神戸と大学、新聞社の歩み

- 1868 新暦1月1日 神戸開港
4月 神戸外国事務役所に病院御用掛を置き、病院建設に着手
7月12日 兵庫県設置
10月23日 明治改元
- 1869 (明治 2) 4月 神戸病院開院
- 1877 (明治10) 帝国大学 (東京) 開設
- 1878 (明治11) 公立神戸病院と改称。明石、西宮に分院設置
- 1882 (明治15) 付属医学所が県立神戸医学校として独立 1888年閉鎖
- 1886 (明治19) 旧制第一～第五高校 (開設当初は高等中学校)、翌年につけて開設
- 1889 (明治22) 神戸市が市制施行
- 1896 (明治29) 川崎造船所創設
- 1898 (明治31) 神戸新聞創刊 この年、兵庫県人口160万人 神戸市20万人
- 1897 (明治30) 京都帝国大学開設
- 1900 (明治33) 県立神戸病院を中央区楠町7に新築移転
- 1902 (明治35) 官立神戸高商設立 (授業開始は翌年 大学は1903年を創立年に)
- 1904 (明治37) 日露戦争勃発
- 1911 (明治44) 株式会社神戸製鋼所設立。鈴木商店の100%出資。
- 1914 (大正 3) 第一次世界大戦勃発
- 1917 (大正 6) 鈴木商店の売上高が三井物産を抜き商社日本一に
- 1918 (大正 7) 米騒動
8月12日夜、鈴木商店焼き討ち
- 1920 (大正 9) 兵庫県人口230万人 神戸市61万人 東京、大阪に次ぐ都市に
- 1922 (大正11) 6医科大学 (旧六)、1925年につけて順次開設
- 1923 (大正12) 関東大震災
- 1927 (昭和 2) 鈴木商店破綻
- 1929 (昭和 4) 神戸高商が神戸商業大学に昇格
- 1939 (昭和14) 神戸が100万都市に
- 1944 (昭和19) 神戸病院を母体に「兵庫県立医学専門学校」開設
- 1945 (昭和20) 神戸大空襲
- 1948 (昭和23) デイリースポーツ創刊
- 1952 (昭和27) 神戸医科大学 開校
- 1964 (昭和39) 神戸大学医学部設置 県立医大の国立移管が始まる

■情報交換会 開始の挨拶



前田会長挨拶

皆さん、長時間に渡りご協力ありがとうございました。

役員選挙が約10分の予定が2時間近くとなりました。ただ、新役員（理事・監事）が無事選出され、ありがとうございました。また、講演者、杉浦先生、山本先生、高土会長には、本日は出番がないのではとご心配をおかけしました。すばらしい内容のご講演ありがとうございました。

さて、この場では、入口側の廊下の立て看板で紹介しています、動物実験施設の塩見准教授のご退職とその功績を紹介します。旧の医学部本館屋上に昭和33年建設、整備されました。次いで基礎棟の建て替えて昭和54年に北棟7～9階に移りました。その後は、阪神・淡路大震災での水漏れ等への対策が難しかったのですが、平成19年共同研究館・寄付建物建設と残る基礎2棟の全面耐震改修まで、寄付額は1億2千万円と思いますが、大学の努力で総額20億円とされる工事が行われ、すばらしい動物実験施設となり、共同研究館と寄付建物へ移動しました。この三度の運営を塩見先生が関わられました。更にご承知のように、渡辺ラビットとされるウサギを継承し、高脂血症研究ですばらしい成果をあげられました。詳細は、立て看板及びこのニューズレターの報告をご覧ください。また、この後、神緑会混声合唱団の美声をご披露くださいますのでお楽しみください。



司会 大林先生



乾杯 望月先生



会場風景



混声合唱団



一般社団法人神緑会 (神戸大学医学部医学科同窓会) 会長退任にあたって

前会長 前 田 盛 (昭和46年卒)

神緑会を取り巻く状況

長く神緑会活動に関わってきたが、実態がやっとわかってきたと思える中での退任となった。大学の教員歴が長かったので、昭和55年に大学卒での理事となり、次いで学術誌の編集を任されました。「国会図書館に置くレベルの内容」と同窓会の立場を兼ねた内容とするのに、どこからの指導があるわけでもなかったが、苦労した。ただ最大の問題点は費用負担にあった。学術誌のレベルを守る努力は、印刷費が支出の中で最高額であるだけでなく、常に攻撃にさらされました。「確かに良い内容の学術誌ができたが、会費を払わない会員に誰の負担で送るのか？」と言われ、どこかの時点で会費未納や未入会者への送付中止はやむなし。わずかにつながりかすかな糸を切ることを予感した。

ところが、そんな簡単な問題でない事は、会費収入の分析で明らかになった。昭和卒業者と平成卒業者の神緑会への、あるいは、同窓会への親和度は大きく異なり、会費未納の理由でかすかな糸を切れるものでない事が判明した。実は更に複雑な要因があった。昭和55年度から58年度の社団法人格の取得のための寄付活動で10万円以上の寄付者は、会費免除者となっていた。基本財産が利子を生んでいた時代は、年利5%で約500万円の収入となるが、その後の低金利（もう無利子といえる）時代では非協力的な会員を頼りに会を運営する時代となった。

毎年1回の学術誌だけでなく、年4回発行するニューズレターの発行を行い、「立派な内容」と言われたが、4年前からページ数の減や紙質を落としての運営、昭和卒者には、未入会や会費長期滞納者には、送付せずホームページにアクセスしてもらおう体制で節約に努めた。なお、付記すると会費免除者には、会費に見合う金額の寄付のお願いで約半数の方から三回ほど協力をいただき、大変感謝している。銀行利子がこんなに大きく変動するとはわかっていなかったではなく、企業の人達は、政府・日銀はわかって誘導していたとお聞きし、がっかりきた。

就任の頃のショック療法

収入確保と支出の減少について、組み合わせた試みを行った。入会金の多くは、新入生からで、100%は難しいにしても多くの新入生から支払いが安定していた。研究助成とは別に「小規模講演会」開催の助成を行い、20万円程度で毎年数件の応募があった。平成24年にはじめて収入が2,000万円を突破し、少し安心したが、むしろ減少もあり厳しい運営となった。結局広報誌のページ削減、紙の質を落としたり、学術誌のページ数減と本格的に対応した。平成28年度には、昭和卒者の未入会及び長期滞納者へのニューズレターの配布を取り止めた。ホームページの充実により、そこへの早期アップで特にクレームは発生しなかった。

記念事業 (150周年、75周年)

当初70周年を目標としたが、60周年の開始が遅れ、かつ追加の寄付活動も行ったので、大学の判断で150周年、75周年記念事業とし、寄付活動と記念式典、記念講演と祝賀会を9月1日に実施することになった。学生を含む1000人規模の実施が目前に迫っている。大口寄付の他は神緑会の寄付は低調ですが、目標の2億円には届くと期待している。時節柄、大学の目標額3億円の寄付は、大変難しく、もう少し形のみえる活動が求められている。未来医療開発センターは、近隣に候補地もあり、大学に一工夫を求めたい。



ただ、「歴史的事実の提示」の冊子は、全員に一律配布とせず、支部長やクラス代表により手渡しでの活動とした。更に昭和24年～平成30年卒までの各代表による「座談会の記録－女性医師の進路状況」は全員配布し、多くの方から良好な評価を得ている。ただ、すべての世代に好評というわけでないので、引き続き、神緑会としての努力が求められる。

終わりに－発展への期待

「同窓会が何の役に立つ」との指摘は、簡単に多くの人の口から出ることがある。卒業大学は、卒業時の名簿は持っているがその後の資料は持っていない。名簿を維持する唯一の組織は、同窓会に他ならない。その活動すら、お金を生みださないで、それぞれの負担によらざるをえない。どこかの時点で、学生時代を一緒に過ごした仲間が親しく接することも起きるが、それがいつかはそれぞれの関係で、あるいは、世代によって異なるかもしれない。どこかで役立つと信じています。

神戸大学医学部医学科は、大変な苦勞の延長に現在があります。同窓生それぞれの希望に満ちた人生と神戸大学大学院医学研究科の一層の発展を期待します。

この在任期間で果たせた事柄は少ないかもしれませんが、精一杯やったと自画自賛の境地です。お世話になりました。

神緑会四大大事業

1. 社団法人神緑会の認可（40周年記念事業）

昭和55年～58年に法人認可に必要な基本財産一億円確保のために寄付活動を行いました。昭和59年2月に文部省から認可されました（555名が終身会費免除者となった）。

2. 同窓会館（神緑会館）建設（50周年記念事業）

平成6年に提起されましたが、阪神・淡路大震災により完成は平成13年となりました。建設費は2億8千万円で廣巖寺（楠寺）にあった神田知二郎石碑を会館内に移設した。大学及び神緑会で後援会を組織し、神戸市税務署より免税措置を受けた。948名（H8年7月24日）、但し、平成13年後援会まとめで1856名の会員が寄付した。

3. 動物舎の移転と基礎棟全面耐震改修（60周年記念事業）

独立行政法人への移行などで2年遅れとなったが、共同研究館横に寄付建物を建設し、共同研究館の耐震改修と北棟7～9階にあった動物舎を両建物に移転した。次いで、基礎棟を順に耐震改修した。2期に分けた寄付で、1.2億円及び6千万円確保し、独法化の効果で寄付は総て大学基金経由で免税となった。

4. 75・150周年記念事業（75周年記念事業）

現在進行中の寄付活動は、神緑会としての目標額は2億円で総額が5億円です。

10月を目処に継続され、ようやく大学も本腰を入れて活動中です。75周年記念誌発行準備中で、神緑会は別に全学年を巻き込んだ座談会記録を5月末に送付した。（文責 前田 盛）

新会長就任挨拶

会長 木戸良明 (昭和61年卒)

この度、前田盛前会長を引き継ぎ、一般社団法人 神緑会会長に就任しました木戸良明です。よろしくお願いいたします。

私の自己紹介をさせていただきます。私は、昭和61年の卒業で、卒業後、故馬場茂明教授が主宰されていた旧第二内科学講座に入局しました。大学病院で1年間、市立伊丹病院で2年間臨床研修をした後、大学に戻り、研究を開始しました。馬場教授の専門の糖尿病ではなく、大槻眞先生のもとで、慢性膵炎のモデルを作成し、CCK ホルモンの関与について研究をしておりました。その後、春日雅人先生が、馬場教授の後任教授として赴任され、大槻先生が産業医科大学の教授として神戸大学を離れられましたので、春日先生の指導のもと分子生物学の手法を取り入れた研究を始めました。1997年からは、春日先生のご推薦でアメリカのNIHのDomenico Accili 博士のもとに糖尿病研究のために留学をしました。1999年からは Accili 博士がニューヨークのコロンビア大学に移られましたので、一緒にニューヨークに移りました。2000年に帰国してからは、大学で糖尿病の成因(膵β細胞)に関する自分の研究グループを持ち、助手から助教、講師を務めさせていただき、春日教授の最後の医局長を務めました。春日先生が2008年に国立国際医療センターに移られた後に清野進先生が教授になりました。清野先生には同じ膵β細胞研究者として多くのご指導をいただきました。その後、清野先生のご推薦もあり、保健学研究科に移りました。2013年からは、保健学研究科の副研究科長、2016年からは研究科長に就任し、この3月まで務めました。この間、部局長として本部の部局長会議等に出席し、神戸大学全体の組織や方針について学びましたし、保健学研究科という一つの研究科をどのように運営していくかということに関しても勉強させていただきました。このように、神戸大学に入学してからは伊丹での臨床研修の2年間とアメリカ留学中の3年間を除いた24年間は大倉山で過ごしましたし、その後の名谷も含めると人生の半分以上の35年間神戸大学にいたこととなります。

神緑会との関わりは、私は決して優等生ではなく、大学を卒業して以来、神緑会の総会等にはあまり参加してきませんでした。神緑会だけではなく、同門会などの集まりにも積極的に参加するタイプではありませんでした。今の若い先生方もそうですが、臨床や研究が忙しくてということもありますし、過去を振り返る気にはまだなれなかったのかもしれませんが、しかし、年をとり職位もついてくると、自然と集まりに出ることも増えてきますし、責任も出てきます。私の場合は、保健学研究科の副研究科長をしている時に2年間、学内からの代表ということで神緑会の理事を務めさせていただきました。その時に前田会長や理事の先生方にはたいへんお世話になりましたし、神緑会の活動なども知ることができました。その後、研究科長になりましたので、一旦、理事を辞することになりました。今年の3月で研究科長の任期を終えましたので、再び理事に選出していただき、その後の新理事による会合で会長にご指名いただきました。前田先生がこれまで12年間の長きにわたり会長を務めてこられた後ですし、前田先生が神緑会の企画・会計・広報などの全般にわたって仕事を自らこなされておられたことも理事の時に見ておりましたので、同じようには務まらないと思っております。また、新理事の先生方の半数以上は私より先輩ですので、もうすぐ還暦を迎える私でもまだまだ若輩であり、うまくやっっていけるのか不安はあります。しかし、神緑会というのは、定款にありますように「医学の教育・研究の発展向上及び学術の発展に寄与することを目的とする」ための法人であり、組織を拡大して利潤を追求する団体ではありません。やるべきことは純粋に神戸大学医学部医学科を卒業された先生方にできるだけ多く神緑会にご参加していただけるようにすること、そして学生から若手の研究者・臨床医、中堅の研究者、勤務医、開業医の先生方に対して何らかの形で教育・研究・学術に関するご支援することだと思っております。就任してみると思っていた以上の膨大で多岐にわたる仕事がありますし、このニューズレターが出るころには終わっておりますが、9月1日には神戸大学医学部医学科創立75周年・神戸病院創立150周年記念事業があります。盛会のうちの終わることを祈念しております。

神緑会の先生方におかれましては、私をはじめとして経験の少ない理事会ではありますが、神緑会の発展のために尽力する所存ですので、何卒ご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

退職にあたって、ご支援に感謝！

医学研究科附属動物実験施設

生理学・細胞生物学講座 疾患モデル動物病態生理学分野 塩見雅志

1980年10月に行政職一級技官で赴任し、1990年4月に助教授に採用され、動物実験施設の運営と WHHL ウサギを継承しました。助教授就任早々、自治体からの実験用イヌ・ネコ払下げ廃止問題、動物実験反対運動、阪神淡路大震災と様々な問題が勃発しましたが、学部長や事務局のご支援で乗り切ることができました。

これらを機に、欧米製薬会社との共同研究や大型予算に採択される動物実験実施体制を構築することができました。しかし近年の研究予算削減によりこの体制が揺らいでいることが気がかりです。WHHL ウサギについては、医学研究科や大学本部のご支援をいただいで系統維持を行い、国内外の研究者に4,639匹を提供し、リポタンパク代謝、動脈硬化等の研究に貢献することができました。

国内外の多くの研究者から系統維持継続の要望を戴きましたが、2018年に系統維持を終了しました。施設職員をはじめご支援いただいた皆様に御礼申し上げます。



2019年2月5日 動物実験施設の会議室にて職員と

前列左から形山さん、三枝さん、猿木さん、塩見先生、鈴木施設長、山田さん、菊森さん
中列左から塚田さん、庵下さん、和田さん、白川さん、大須賀さん、高橋さん、伊藤さん、森田さん、来條さん
後列左から白石さん、山矢さん、簀戸さん、門田さん、大矢さん、元木さん、木下さん、
挿入写真は左から福田さん、新さん、国吉さん

WHHL ウサギに関するポスターの説明

ポスターは、「WHHL ウサギの歴史」および「特性のまとめと国内外への分与状況」の2枚で構成されています。

1. WHHLウサギの歴史

- ・1973年に動物実験施設の故渡邊嘉雄教授（1927-2008年）が高脂血症を示すオスウサギを発見し、6年間の交配実験により系統として確立し、Watanabe Heritable hyperlipidemic (WHHL) ウサギと命名し、Atherosclerosis に発表。
- ・国内外から多数の分与依頼があり、リポタンパク代謝の解明に貢献した。その研究の一つが、Goldstein と Brown の1985年のノーベル賞受賞研究であり、彼らは WHHL ウサギがなければリポタンパク代謝の解明は10年以上遅れたであろうと話していた。
- ・1980年代から、WHHL ウサギは脂質代謝改善薬の開発に使用され、スタチンの開発にも大きく貢献した。スタチンの開発では、マウスやラットは無効であり、WHHL ウサギを用いた研究（本学動物実験施設で実施）で自然発症の高脂血症における血清脂質低下効果が確認された。その後、脂質低下剤の開発では、WHHL ウサギを使用することが厚生省から求められるようになった。
- ・1990年代に冠動脈に粥状動脈硬化が自然発症する WHHL ウサギを動物実験施設の塩見前准教授らが開発し、スタチンの投与で冠動脈病変の不安定化を抑制できることを世界で初めて証明した。
- ・その後の選抜交配で1999年に心筋梗塞を自然発症する WHHLMI ウサギを塩見前准教授らが開発し、WHHLMI ウサギに冠スパズムを発生させることで急性冠症候群を誘発できることを塩見前准教授らが示した。
- ・高コレステロール血症を発症していても冠動脈病変の進行に大きな差があり、血清のメタボローム解析やリピドーム解析の結果、冠動脈病変の進行に特異的な代謝物があることを塩見前准教授らが同定した。
- ・近年では動脈硬化のイメージング等の研究に WHHLMI ウサギは貢献してきた。
- ・2018年6月で系統維持を終了した。

2. 特性のまとめと国内外への分与状況

- ・特性について：LDL 受容体の遺伝子異常により WHHLMI ウサギは高コレステロール血症となり、その結果、冠動脈、大動脈、頸動脈等に粥状動脈硬化が自然発症する。また、大動脈弁狭窄症、黄色腫、過活動膀胱、感音性難聴も報告されている。
- ・分与状況について：WHHL ウサギは、毎年100匹以上を国内外に分与されてきた。国内では39都道府県、80機関に4,154匹、海外では18か国46機関に485匹が分与され、リポタンパク代謝や動脈硬化等に関する研究に貢献した。



剥製の渡辺ラビット

WHHLウサギ, WHHLMUウサギ開発の歴史

塩見 雅志 (神戸大学 医学研究科 附属動物実験施設)

WHHLウサギ開発の歴史

関連するニュース

1973 **高脂血症を示すミュータントウサギを発見**
遺伝性を確認しHLRと命名
(Exp Anim 1977; 26: 35-42)

1980 **系統として確立しWHHLと命名**
(Atherosclerosis 1980;36: 261-268)
世界各国へ分与を開始
脂質代謝、動脈硬化の研究に貢献

1985 **冠動脈疾患好発 WHHLを開発**
(Atherosclerosis 1985;56: 71-79)
脂質代謝、動脈硬化の研究に貢献
脂質低下剤の開発に貢献
(BBA 1986; 877: 50-60)
脂質低下剤の動脈硬化抑制作用を証明
(BBA 1988; 930: 294-302)

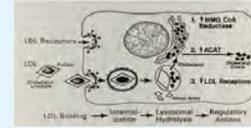
1992 **重度の冠動脈病変を発症する WHHLを開発**
(Atherosclerosis 1982;96: 431-528)
動脈硬化構成成分の定量解析法の開発
(Arterioscler Thromb 1994;14: 931-937)
スタチンの動脈硬化病変安定化作用を解明
(Arterioscler Thromb Vasc Biol 1995;15: 1938-1944)
WHHLCAウサギにメタボリックシンドローム様所見
(Atherosclerosis 1999;142: 345-353)
脂質低下剤の開発に貢献

1999 **心筋梗塞を自然発症する WHHLMUを開発**
(Arterioscler Thromb Vasc Biol 2003;23: 1239-1244)
動脈硬化の画像診断技術 (MR, CT, PET, IVUS, 内視鏡) の開発に貢献
(J Nucl Med 2004; 45: 1245-1250)
脂質低下剤、動脈硬化抑制剤の開発に貢献
(Atherosclerosis 2013;213:39-47)

2011 **冠スパズムでWHHLMUウサギに急性冠症候群を誘発**
(Arterioscler Thromb Vasc Biol 2013; 33: 2518-2523)

2018 **冠動脈病変に特異的な血清マーカーの同定**
(Atherosclerosis 2019; 84: 18-23)
系統維持の終了

LDL受容体仮説 スタチンの発見



血清コレステロール値は心疾患に関係

リポタンパク代謝の解明
(N Engl J Med 1983; 309: 288-286)

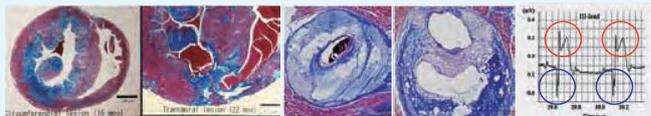
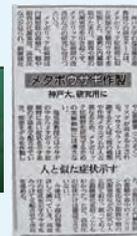
WHHLを使用したLDL受容体研究がノーベル賞



スタチンあいついで発売



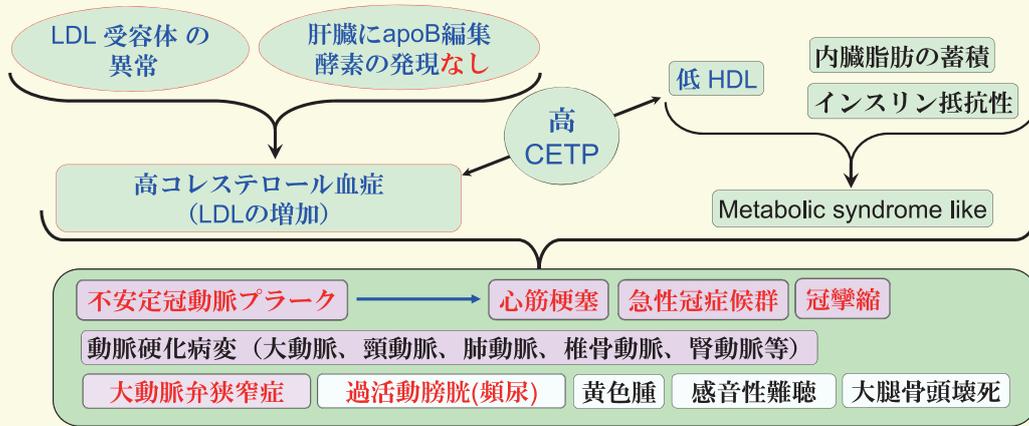
スタチンの動脈病変安定化仮説



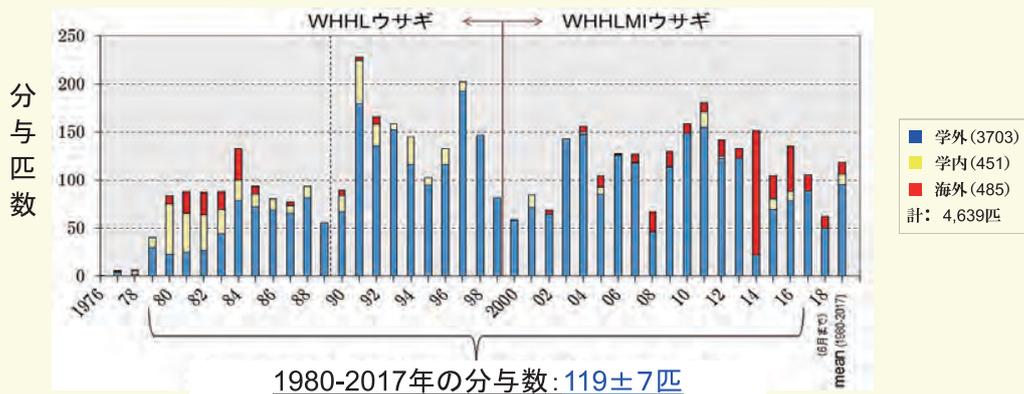
WHHLMUウサギを用いた研究分野

病態と発生機序等に関する研究	高コレステロール血症	低HDL血症	メタボリックシンドローム
	動脈硬化	心筋梗塞	黄色腫 排尿障害 その他の関連疾患
治療法、診断法等に関する研究	上記疾患の治療薬の開発	動脈硬化画像診断薬, 診断機器の開発	
	遺伝子治療	再生医療への応用	

WHHLMi ウサギの特性

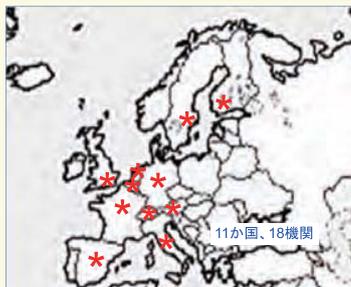


WHHLウサギ／WHHLMiウサギの年別分与状況 (1976-2018年 6月)



国内: 39都道府県、80機関、4,154匹

海外: 18か国、46機関、485匹 (イタリアとスペインはフランスから提供)



11か国、18機関



21機関

英文論文: 706報 (2019年3月現在)

大倉山祭開催に向けて

2019年度大倉山祭実行委員長 弓場 健太郎 (学部3回生)

記念すべき令和元年度の大倉山祭実行委員長を務めさせていただくこととなりました弓場健太郎と申します。昨年度までは4回生と3回生が合同で実行委員会を運営しておりましたが、今年度から3回生だけの運営となりました。大きなシステム変革を受けて、果たしてうまく実行委員会を回していけるのだろうかと少々不安に感じています。しかし、先輩方が創ってこられたこれまでの大倉山祭に私どもの大倉山祭が劣るわけにはいきません。新しい時代の幕開けにふさわしい大倉山祭を創り上げるべく実行委員会一同、東奔西走して準備をしております。

前置きが長くなりました。本年度の大倉山祭本祭は11月17日に開催いたします。また、本祭前日の11月16日には医療シンポジウム、10月26日にはホームカミングデー、10月6日にはスポーツ大会が予定されています。全イベントを合わせると、大倉山祭の全行程は実に1か月を超える期間に及びます。大倉山祭の始まりを飾るスポーツ大会は、六甲キャンパスのグラウンドをお借りして行われます。例年男女たくさんの人たちが参加して下さり、景品をめぐる熱い試合が繰り広げられています。今年のホームカミングデーは警視庁科学研究所長の福永氏をお招きしてご講演賜ります。神緑会会員の方々、病院の先生方、今年もよろしくお願いいたします。本祭前日には一般の方や学生が自由に参加できる無

料講座・医療シンポジウムが開催されます。「認知行動療法」をテーマに先生方、学士の方にご講演頂く予定です。そして最後に大倉山祭本祭が大倉山公園の噴水のある広場にて開催されます。昨年よりもさらに多くの団体が出店する予定です。

今年の大倉山祭のテーマは「Don't Stop Kobe Now ～令和初の青春祭～」となりました。去年のテーマへのリスペクトが認められる素晴らしいテーマだと私どもは自負しております。

前述の通り、今年の大倉山祭もこれまでの大倉山祭に負けないものとするために委員全員が力を合わせて全力で取り組んでいます。活動の中で、企画を立てる、後援金・協賛金を頂く、ポスター・パンフレット作成して宣伝するといったことの大変さ、難しさ、おもしろさ等々を日々ひしひしと感じています。

また、今年もたくさんの先生方・教務の方々・協賛企業の方々が私たちの活動を支援してくださっています。委員一同ただただ感謝の気持ちがやみません。ますます精進してまいりますので、これからも暖かいご声援、ご支援よろしく願いいたします。

最後になりましたが、皆様、ぜひ大倉山祭へ足をお運びください。私ども実行委員会の活動の成果を噴水の広場いっぱい敷き詰めてお待ちしております。



実行委員会メンバー



兵庫県立神戸病院の鐘



持つ手の木に兵庫県立神戸病院の印字がタテに入っているが、ほとんど消えかかっています。カランカランと良い音が鳴ります。基礎棟 B3階の感染制御学分野 勝二教授から届け出がありました。教室の古い職員や初期の頃の卒業生に問い合わせましたが、鐘について知っている人はおられませんでした。



鐘の内部「寿」の字は、作られたタイミングを意味するかも知れません。

編集後記

本号が皆様の手元に届くころには、9月1日の記念式典、講演会、祝賀会が終了している。神緑会員の出席を含む1,000名に達する盛況となりました。卒業生に医学研究科が愛されているかのバロメーターとするには、なんともうれしい指標です。

さて、今号は通常32ページで発行するものが、24ページでの発行となりました。理事会の大巾交代によるもので、旧理事とは異なる大胆な発想での改革を期待したい。

年二回の総会の案内と報告を軸にしたニュースレターは、時にマンネリ化していたかもしれませんが、更に5年に及ぶ記念事業の呼びかけや関連の資料提示もマンネリ化の象徴とすると大学を支援する同窓会の看板は降ろさざるをえない？

混声合唱団の活動は関係者の努力で順調に推移し、冒頭の記念式典等での美声及び50周年での公募で皆さんの目に触れた黒原（旧姓三條）みどり先生作詞・作曲の学歌候補曲の正式認定を切望したい。新バージョンに期待します。 編集委員会

神緑会ニュースレター 第11巻第2号

発行 一般社団法人神緑会
会長 木戸良明
〒650-0017 神戸市中央区楠町7丁目5-1
神戸大学医学部内
TEL (078) 361-0616
FAX (078) 361-0617
sinryoku@med.kobe-u.ac.jp
印刷 交友印刷株式会社
〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目4-5
TEL (078) 303-0088
FAX (078) 303-1320
info@koyu-p.co.jp

木と生きる幸福
住友林業グループ



Premium Moment

すべての刻に、豊かさを。



(完成予想図)
建物: 自社所有
土地: 普通借地 (アーク不動産株式会社・平成29年契約)

住友林業のシニアレジデンス

エレガーン西宮

2020年春 開設予定



見学受付中
シニアレジデンスギャラリー
完全予約制

エレガーン西宮シニアレジデンスギャラリー 〒663-8032 西宮市高木西町4番22号

0800-100-2438
(10時~17時・毎土曜定休日)

- 一般居室全戸南向き(219戸)
- 同一建物内クリニック(別法人)開設予定
- 専門講師による文化系・スポーツ系プログラム
- 全戸Wi-Fi環境を整備(309戸)
- 全面的な支援に備え介護居室を併設(90戸)

【施設概要】●所在地/西宮市津門大塚町1-17●交通/阪急神戸線「西宮北口」駅より徒歩16分(約1,280m)、JR神戸線「西宮」駅から徒歩11分(約880m)、阪急今津線「阪神国道」駅より徒歩4分(約320m)●構造概要/鉄筋コンクリート造地上14階建2棟、5階建1棟●居室数/総居室309戸(一般居室219戸、介護居室90戸)【西宮市サービス付き高齢者向け住宅運営指導指針による表示】●類型/サービス付き高齢者向け住宅●居住の権利形態/利用権方式●利用料の支払い方式/一部前払い一部月払い方式●入居時の要件/入居時自立・要支援・要介護●介護保険/在宅サービス利用可●生活支援サービスを提供する人数/看護師8名、介護支援専門員1名、介護福祉士15名、上記以外の職員14名合計38名(予定)●常駐する時間/9時~17時30分14名、17時30分~9時4名(予定)【住み替えについて】24時間の支援が必要になった場合、介護居室にお住替えいただけます。○居住面積の減少あり○利用に関する権利の変更なし○追加費用なし○費用に関して面積の減少に応じた調整が行われる場合もあります。【協力医療機関】明和病院○所在地/西宮市上嶋尾町4-31○診療科目/総合診療科・消化器内科・腫瘍内科・循環器内科・呼吸器内科・血液内科・糖尿病/内分泌科・消化器外科・乳腺/内分泌外科・呼吸器外科・整形外科/リハビリテーション科・産婦人科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科/にきびセンター・形成外科・泌尿器科・歯科/口腔科・麻酔科・腎・透析科。

経営・運営主体 **スミリンケアライフ株式会社** (住友林業株66.7%出資)
〒651-0073 神戸市中央区臨海海岸通1丁目5番1号(国際健康開発センター3階) TEL.078-261-6665
(公社)全国有料老人ホーム協会会員 (一社)全国介護付きホーム協会会員 www.s-carelife.co.jp FAX.078-261-6662

メルマガ会員募集中!
詳しくは **エレガーン西宮** 検索

